新ごみ焼却施設建設候補地選定結果説明会（概要）

- 1 **開催日時** 平成 27 年 5 月 23 日（土）14 時 00 分から 16 時 30 分まで
- 2 **開催場所** 鎌倉市武道館第一会議室
- 3 **出席者** 松尾市長、小林副市長、石井環境部長
- 4 **事務局** 小池環境部次長、遠藤環境部次長、近藤環境施設課長、齋藤環境施設課課長補佐、大宮環境センター担当課長補佐、森田環境センター担当課長補佐、樽木環境センター担当係長、花田環境施設課環境施設担当
- 5 **出席者** 95 名
(山崎町内会、山崎西町内会、サウスアリーナ鎌倉大船自治会、富士見町内会、鎌倉グランマックス自治会、玉川町町内会)
- 6 **内容**
新ごみ焼却施設建設候補地選定結果について
- 7 **配付資料**
 - (1) 資料 1 新ごみ焼却施設最終建設候補地の選定経過について
 - (2) 資料 2 新ごみ焼却施設建設候補地の選定について
 - (3) 資料 3 鎌倉市新ごみ焼却施設の整備について
 - (4) 資料 4 鎌倉市新ごみ焼却施設建設候補地の選定計画について

8 説明会概要

資料 3 については、松尾市長からの説明があり、その他の資料に関する説明を石井環境部長が行った後、質疑応答に入り、その内容については次のとおりです。

市民 今までいろいろと説明を聞いてきましたが、はじめから山崎ありきで検討を進めてきたとしか思えません。山崎の住民は 20 年以上耐えてきているのです。昭和 63 年に市長と交わした約束の中で、いくつかは果たしているということですが、それは平成 21 年のときだけで、こちらとしては、やってもらったという自覚はありません。それについての話し合いもありません。市役所の説明では、最もらしい文章で、いいことばかり書いていますが、本当に約束事を守ってくれるとは思えず、信用できません。

ごみ焼却施設用地検討部会についても、名越、今泉の方々が入っているが、山崎の協議会の人間が入っていません。

私は野村跡地が一番いいと思っています。政治的な意図があって、野村が外されたのではないか、市長に何らかの圧力がかけられたのではないかと感じています。野村には無限の可能性ががあります。まわりに緑があるから駄目ということですが、多目的に使えます。道路、解体に費用がかかるということですが、焼却施設以外の何かをやるにしても、それを行う必要があります。これも 8 億かかるということであれば、浄化センターと同じではないですか。新しい場所に造ってくれれば、市長に期待していましたが、裏切られました。市長はこの考えを変えないということですが、そうであ

れば市長にやめてもらうしかないと思います。

市民 浄化センターは昭和 63 年に建設しましたが、当時の中西市長が言った約束事を何も守っていません。これ以上はここに造らない、これからは平等にすると当時の市長が言いました。このあたりでは、いまだに悪臭の問題があり、浄化センターがあるのに、さらにここにもってくるとは、どういう考えなのかお聞かせ下さい。

市長 今回の選定にあたりましては、鎌倉市内での建設がどこにできるかというところからスタートし、住民の代表の方たちにも入っていただいて、条件を絞りながら検討を進めてきました。4箇所絞り込んだ段階で公表し、その中から様々な条件を考えて絞り込んでいったというところなんです。決して山崎ありきで進めてきたわけではありません。4候補地には、どこも一長一短あります。それぞれの候補地に課題があり、その中でどこにしていくかということを検討してきた中で、災害時におけるエネルギーの供給による安定的な施設の稼働、平常時の下水処理施設、焼却施設で相互のエネルギーを有効活用ができるということを重視して、この場所に決めさせていただきました。

市民 それは、浄化センターがここにあることから、理屈をつけているだけだと感じます。今までも、周辺の住民は迷惑しています。これ以上、ここに施設を造ることは絶対に反対です。

市民 用地検討部会に、なぜこの協議会から参加できなかったのですか。また、なぜ、今後施設がなくなる名越、今泉の地域住民が入っているのでしょうか。

市長 今回の用地選定にあたりましては、5地域からの代表と、現状の名越、今泉2施設の連絡協議会から入っていただくこととしたため、山崎の協議会からは入っていただかなかったという経過です。名越、今泉を候補地から除外するということは、当初は決まっておらず、用地検討部会の中の協議で決めたことです。

市民 今回の説明で、公害防止管理者1種以上の方が入っていますか。大気大規模特論というもので、煙突の高さは周辺の建物の 2.5 倍以上にするのが望ましいと言われています。今回の説明で、煙突の高さは住民と協議して決めるということですが、なぜ煙突の高さが建物によって違うのかということを理解しているとは思えません。公害防止管理者1種以上の方を入れて、大気のことを考えてモデル等を造っているようには思えません。山の上に立てれば、煙突の高さは短くてすみます。煙突を1m高くすることで費用がいくらかかるのかといった検討はしているのですか。周辺の高い建物には、湘南鎌倉病院がありますが、その 2.5 倍以上にするつもりですか。

部長 煙突の高さをはじめ、焼却施設については様々な法律があり、当然それらを遵守する中で施設整備を考えています。施設の細かい仕様については、当然のことながら、今後、資格がある人間等を含めて、どういう形が一番望ましいかという協議を行っていく必要があると考えています。今後、生活環境影響調査をやっていくこととなりますので、その中で、きちんと適合する対応をしていくことが必要と考えています。

市民 上大岡にて、高い建物ができたことで、周辺のマンションの自転車置き場が壊れたという例にあるように、高い建物を建てると風の流れが変わるため、その弊害を考えて下さい。近くの JR に悪影響があるかどうかなどといった調査はしているのでしょうか。

か。

部長 具体的な調査は、今後行っていくこととなりますが、当然、法律の基準に合わないものは建てられません。まずは法律に合った形で検討したものを、きちっと説明してご理解いただき、次の段階で、法律以外の部分について、協議していきたいと考えています。

市民 法律での高さの制限はあると思いますが、周囲の建物の 2.5 倍以上が望ましいとされていますので、覚えておいて下さい。

市民 用地検討部会の選定基準があまりにも不明瞭です。不明瞭な中で地域住民に納得しろというのは無理な話です。比較検討項目の 19 項目とありますが、なにも示されていません。今泉、名越には住民との覚書があると言われていますが、こちらにも中西市長との文書があり、それでもここに造るのでしょうか。候補地の選定理由について、災害時のエネルギーの有効利用ということですが、ごみ処理施設だけ動けばよいのではないのでしょうか、あえて一緒にする必要があるとは思えません。まちづくりの視点については、このあたりも、歩行者、通勤の車等、特に朝は交通量が多く、朝の時間に右折車が多いということであれば、どのようなことになるか想像が付き、町中から外れたところにつくるべきではないかと思います。建設附帯費用の視点については、野村の解体、橋の建替えで 8 億ということであれば、山崎の 8 億と同じです。災害時の避難場所になるということであるが、武道館を造った時に災害時の自衛隊駐屯地、遺体安置所になるのという話があったようで、そうであれば、周辺住民が使用できないのではないのでしょうか。また、浄化センターの能力に余裕があるため、逗子市からの下水の受入れをし、ごみを逗子市にお願い出来ないかという話が過去にあったようなのですが、結論は出ているのでしょうか。震災時の汚泥 150 トンが保管されているとありますが、処理が進んでいないということであれば、鎌倉市が住民との約束を守るとは思えず、いいことばかり言って、最終的には裏切られるのではないかというのが近隣住民の思いです。私は野村が最適だと思っています、確かに緑があるのでしようが、お金をかけて緑を守って、近隣住民の生活が脅かされるというのはどうなのでしょう。また、この周辺では、浄化センターが造られた時から、大雨のときに水がでるようになったときいています。私は住んで 15 年になりますが、その間に 2 回、浸水しそうになったことがありました。治水対策等、施設を造ったことによる近隣の迷惑を解決していない中で、候補地に選ぶのはおかしいのではないのでしょうか。他市の施設は山の中にあるものが多く、そのような場所であれば交通に影響も少なく、これを考慮すれば、野村が最適であると思われませんが、頑なに鎌倉市が拒否している理由が不明です。きちっと理解できるような説明をして欲しいと思います。野村に、焼却施設を立てる土地がないため、いただいた土地を有効活用させてほしいという申し入れをしてみてもどうでしょうか。それもしていないのに候補地から除外するというのは納得がいきません。

市長 用地検討部会の選定理由が不明瞭であるとういことですが、バイオマスエネルギー回収施設を造るといときは、市として、外部の方を入れずに、内部で決定して、最終的に山崎に決定した、と公表しました。そのときがちょうど私の市長選挙のときで、

バイオマスエネルギー回収施設を造るということについては、見直しをすると公約に掲げました。その際、地域の皆さまから、どうして選定過程の途中でも公表しなかったのか、とのご指摘をいただきました。他市のプロセス等を踏まえて、途中で4箇所の候補地等を報告し、その後、住民の方々にご意見をいただきながら、最終的に候補地を決める、その過程にも住民の代表の方に入っていただき、その代表の方々については、連合会に相談させていただき、5つの行政区の中でそれぞれの地域から代表を出していただきたいとし、推薦をいただいたということになります。

市民 今泉、名越はなくなる地域であり、そこからはメンバーに選ばれ、候補地に上がっている地域の住民から選ばれないのはおかしいのではないかと。

市長 当初は、この4箇所ということも、全く上がっていませんでした。焼却施設を造るということにあたっては、やはり今まで40年以上、焼却施設のある地域の皆さまの代表であった方々のご意見を伺うということで、決してその地域に反対するということではなく、あくまでも、住民としてのご意見をいただくということでメンバーに入っていたということだと思います。

市民 選定が絞られた段階で、メンバーを加えたらいかがだったのでしょうか。

市長 途中でメンバーを追加することはしてこなかったわけですが、今回、そのようなご指摘をいただいて、より良い方法として、そのような方法が良かったのかもしれないと思うところがあります。

市民 恣意的に外したのではないのですか。候補地については、当初に目測が付いていたと考えられ、あえてメンバーから外されたように思えます。

市長 当初に目測を立てるということはしていません。この4箇所になることは、当初の段階では全く見えていませんでした。

市民 後から振り返れば、途中で加えてもよかったということでしょうか。

市長 ご指摘として、受け止めます。

比較検討の19項目については、本日はお示ししていませんが、報告書としてまとめたものがありますので、ご確認ください。

また、今泉、名越の覚書等については、当時の地元の代表の方々と市長とが結んでいるものです。昭和63年の山崎町内会と近隣地区の代表者からいただいた要望書につきましては、何もやっていないじゃないかとご指摘をいただいておりますが、多くの要望がある中で、実施していることもあります。ただ、従前からあったスポーツ広場がなくなることによる、代替地の手当てについては、明らかに実施できていません。こうした、協定、覚書はきちっと守っていかなければならないというのはご指摘のとおりです。当時、文書で交わしたものが出来ていないのは、信頼関係を損ねることであり、今後は100%守っていくということで、予算の手当てもしており、この姿勢を崩さずに進めていきたいと思っております。当時の中西市長からの回答書の中には、それぞれ要望についての回答がありますが、これ以上施設を造らないということに関しては、返答文の中に書いていません。それについては、ご理解をいただければと思います。

焼却施設が自立で動かせえすればいいというご指摘については、災害時に安定的に稼働するのも重要な点であると考え、焼却炉から発電する電気により下水処理施設も

安定的に稼働させることができるというのも、安全安心のまちづくりにおいて重要であると考えたところです。

市民 電柱が倒れるような災害が起こった時に、下水がきちんと流れ込んでくるのでしょうか。

市長 東日本大震災のレベルでの災害時を見ても、復旧ができると考えていますので、稼働が出来なくなるということはないと考えています。

また、野村のほうがより適しているのではないかというご指摘については、4箇所については、どこも建設ができるという中で、どう選んでいくかという考え方であり、野村が駄目ということではなく、本市の安全安心のまちづくりを進めていく中で、かつエネルギーの有効活用をしていく中でどこがよいかという視点に立って判断をさせていただき、山崎を選ばせていただきました。

また、災害時については、鎌倉武道館が自衛隊の活動拠点となり、大船体育館と鎌倉体育館が遺体安置所となるように計画されています。

市民 鎌倉武道館が自衛隊の活動拠点となるということですが、我々住民は災害時に避難することは可能なのでしょうか。

市長 当然、今後新たな焼却施設を含めて、一時避難場所として使っていただくことは、可能となりますので、調整させていただきます。

また、逗子市との広域処理についてですが、過去 20 年の経過の中で、県レベルでも様々な計画があり、本来であれば、ごみの広域化として、三浦半島地域として鎌倉市、逗子市、横須賀市、三浦市、葉山町で、お互い役割をもってやっていこうという話を進めてきましたが、これがうまくいかなくなり、最終的には鎌倉と逗子の 2 市という形で今も残っており、当時、逗子で焼却をして、鎌倉で生ごみ処理という考え方がしたが、最終的には、鎌倉のごみの焼却を逗子にお願いするということはできなくなりました。

冠水については、浄化センターの地域でも課題があり、平成 21 年度に直径 50cm の管渠を埋設させていただいたが、これでも十分でないということであれば 雨水対策ということで、そうした被害が出ないようにするように、進めていきたいと考えています。お約束したことは、しっかりと書面に残し、皆さまと信頼関係を築いて、必ず進めていきたいと考えています。

市民 4 箇所の候補地から決まった経緯についてですが、玉縄自治連からの用地検討部会に選ばれた方が、最適なのは野村だと言われました。その方の意見が無視されたのではないかと思います。昨年の 11 月の説明会がありましたが、市の広報活動が全く十分でないと思われ、集まった住民は 10 人程度でした。それで皆さんの意見をきいたとは言えないのではないのでしょうか。また、市民という表現が使われていますが、市民ではなく、地域住民です。大船駅前に住んでる方々は全然関係なく、地域住民のための説明会であるべきです。比較検討 19 項目とあるが、誰が読んでも、点数をつけたら野村総研となるのではないかと思います。小学生が見てもそう思うはずです。譲渡の時に、協定のようなものはないということであれば、建ててもよいのではないのでしょうか。文化的な施設を造って、環境と合致した、文化的なごみ焼却施設を造ればいいじ

やないですか。同じ深沢地区の中で、押し付け合うようなことは言いたくないのですが、既にこちらには下水の汚泥の焼却施設があります。同じところに2つも造るのではなく、思い切って、野村総合研究跡地に決断していただきたいと思います。野村については、いつかは橋の修理、建物の解体をしなければならないのですから、今回、焼却施設を造るということで、大義名分が立つのではないのでしょうか。そのような決断をしてくれたら、市長を応援します。古都保存法が私たちの生活を守ってくれますか。頭を切り替えていただきたいと思います。ごみ処理については、私たちは何代にもわたって責任を負わなければなりません。バイオマスのあたりからお話を伺っていますが、その場しのぎ、上から目線、約束は守らない、行政は気楽でいいなど思っています。そういうふうに思われなくなかったら、決断をして、後世に残るような市長になっていただきたいと思います。

市民 資料の車両の搬入台数について、跨線橋を渡って右折して入ってくるということですが、朝の時間は施設のほうに右折で入ることはできないと思われます。一方通行の妙法寺の前の通りについても、朝は、通勤の車でいっぱいですから、通行不可能と思われます。一度、朝の時間の交通状況を見ていただきたいと思います。

市長 朝の時間帯に、我々も確認しますが、もし地域の皆さまとご一緒に確認させていただけるようであれば、町内会長を通じて調整させていただきます。

市民 比較検討 19 項目について、誰が見ても野村だと思いますがいかがでしょうか。

市長 それぞれの捉え方があり、我々としては、それを見て無条件に野村ということではない、という内容であると考えています。

市民 山崎ありきでスタートして、今にいたっていると思われまので、その発想を転換していただきたいと思います。災害時のエネルギー活用の相乗効果とありますが、時代の流れとしては、施設を集約することよりも、リスク分散という考え方が主流なのではないのでしょうか。例えば、焼却施設は野村に造り、分散させることのほうが有効なのではないのでしょうか。

また、野村が最適だと思っていますが、文化施設という約束があるということであれば、文化施設を焼却施設の複合施設ということで検討してみてもいかがでしょうか。

横浜市では、1 区に1 焼却施設と進めてきた中で、焼却施設の能力に余裕があると聞いています。港南の施設などを借り入れるなど、横浜市にごみが出せれば、費用はかからずに済むのではないのでしょうか。

市長 負担の公平性というところからも、施設の分散という考え方もあるかと思いますが、我々としては、集約することによる施設の効率性、お互いのエネルギーの有効活用ということを考えて決定させていただきました。ご指摘は間違っていないし、そのような考え方もあると考えています。

横浜市の施設を利用するということについて、決して最初からできませんということではないと思いますが、相手のあることでありますし、これまでも、鎌倉としては、市内に焼却施設を造らずに他市で焼却を行うという考え方で進めてきた経過があり、結果的にはそれが上手くいかず、窮々としたところで、新たな焼却施設を計画しなければならぬというところは、反省をする点なのだろうと考えています。横浜市のほう

で可能性があるということであれば、一つの可能性として並行して話はしてみたいと考えています。

市民 この説明会の案内について、道路一本挟んだ隣の町内会には回ってこなかったということなのですが、どのような基準で選んでいるのでしょうか。もっといろいろな方が参加できれば、もっとたくさんの意見を聴くことができたのではないのでしょうか。

また、新しい焼却施設は臭いがしない、というお話をいただいても、実際には浄化センターの臭いがしており、市のことが信用できず、施設建設については容認できません。

部長 今回の説明会の対応の仕方ですが、近隣の住民の方々を対象にということで、対象の町内会を選ばせていただきました。山崎西町内会は対象として選ばせて頂き、開催の通知は、町内会長様に回覧をお願いさせていただきました。申し訳ありませんが、全部の市民の皆さま個々それぞれに開催の通知を配らせていただいているわけではありません。

市長 近隣の皆さまから、臭いについて等ご指摘をいただき、平成 21 年に、脱臭を強化したり、排気の向きを変えたりと、今までも様々な対策をさせていただいてきているところですが、それでもまだ臭うということであれば、対応していかなければならないということで、協議をさせていただきたいと思います。

市民 電力の供給について、環境計画センターというところの資料によると、売電を行うためには、600 t/日以上、人口 60 万人程度の施設に限られ、この規模以下では電力の送電は出来ないとされており、124 t/日の焼却炉では、自分の焼却場の電力しか賄えないのではないのでしょうか。

部長 エネルギーをどれくらい回収できるか、という試算につきましては、124 t/日の炉であれば、年間で約 1,100 万 kw/h 回収することができる、焼却施設で使うのが約 450 万 kw/h 程度とされており、約 650 万 kw/h が余剰となります。浄化センターで使うのが約 900 万 kw/h であるため、おおむね 7 割程度を活用することができると考えています。

市民 野村、深沢を責める気はないが、JR 跡地は A、B、C 3 つの市の土地があり、複合施設も立派なものができます。JR がマンションを建てて、約 3,000 人の人を呼びたいと考えており、藤沢と鎌倉と話し合っ、武田薬品の前に駅を造ると考えている中で、JR は深沢に焼却施設を造るのを許さないから、焼却施設は山崎に造るとなっているのではないのでしょうか。それを市長に言っても全く相手にされません。ここで何を言っても駄目だと思います。深沢の人口が増えたとして、下水、ごみは全て山崎に来ることになります。深沢の人は笑い、私たちは泣くことになります。強制的に造るのかわかりませんが、最終的には 鎌倉市と観光客のごみを全て受け入れるのですから、どうしても造りたいんだったら、恒久的ではなく、老朽化したらどこか別のところに造るという確約をもらいたいと思います。山崎は人が少ないからいいや、ということを決めているのではないのでしょうか。私は生まれたときから、浄化センターの土地が田んぼの時からここに住んでいます。ここには造って欲しくない、27 年間うそをつかれてしまったと感じています。最終的には分散して欲しいと思います。深沢には市議会議員がいるが、ここは市議会議員が誰もおらず、私たちが頑張るしかありませ

ん。焼却をして、ダイオキシン等十何項目の有害物質が出て、私たちはそれを吸っています。皆で吸えばいい、市長も吸って欲しい、分散して欲しいと思います。

市長 今までの長い経過の中で、最も施設の近隣ということでご迷惑をおかけしてきましたし、今でも日々、臭い、振動があるというご指摘をいただいています。大変申し訳ないと心から思っていますが、どこかに焼却施設を造らなければならないことから、このような判断をさせていただきました。他の候補地のほうが、よりよい場所だというご意見もいただきましたので、承らせて頂いて、今後、情報を共有しながら進めていければと考えていますので、よろしく願いいたします。

市民 もういちど検討をし直すということはないのですか。市長は選挙のときに、ここには建てませんと言っていましたよね。

市長 バイオマスエネルギー回収施設を造りませんというお約束をしていました。生ごみを処理する施設と焼却施設とを混同される方が多く、誤解を与えてしまったことについては、お詫びをいたします。

市民 選定に至るまでに、あまりに不備があるとお認めになったと思うので、再検討をお願いしたいと思います。

市民 候補地を決めるということについて、デリケートという表現をされていましたが、近隣にお住まいの方が、毎朝臭うといったようなところこそ、デリケートという表現をするべきではないでしょうか。愛される施設を造る、とありますが、新しい施設がここにいる皆さんに、これから愛されると思っていますか。私にはとても思えません。平成21年に、私達の要望でやっと協議会ができました。市が自ら立ち上げたものではありません。市が自らいろいろと要望に応えたと言っているのを聞くと腹が立ちます。どれだけ信用していいかわかりません。

市民 皆様から山崎ありきと言われるのは、視点を3つにしたからです。災害、街づくり、費用というのは、3つとも行政からの目線です。その中に、もう一つ、地域条件の視点を入れるのはいかがでしょうか。住民のお互いの話し合いが必要だと思います。市長、全部長などで決めたとしても、必ずどこかで不満が残ると思います。それぞれの地域の代表に集まっていただいて、話し合いをしたらどうでしょうか。近隣住民のこのような事情を知らない人は、山崎に決まったのは、浄化センターがあるのだから当然だろうと思っています。意見交換の場を開きながら、野村、深沢をまとめて、4つのところで話し合うということが、深沢全体で平等になるのではないのでしょうか。これは大変だと思いますが、今のままではここにいる皆さんの不満は解決しません。まだ、遅くないと思います。

市長 何らかの形でできないかということは考えていきたいと思っています。

市民 ここに決定したということは、新聞等で初めて聞きました。私たちが知らないのに、報道が先に知っているのはおかしいと思います。

市長 情報の出し方というところは、私も非常に悩みました。バイオマスエネルギー回収施設のときは、地域の方々に一切連絡なくマスコミに出ました。表に出すということは、その時点でマスコミとしては記事にできるということとなってしまうため、どこまで同時にできるかと考えて、地域の代表の方、会長様等になりますがお集まりいた

だき説明を行い、議会への説明、マスコミへの説明を同日に行いました。近隣住民の皆さま全員に、隅々までお伝え出来なかったのは申し訳なかったと思いますが、我々ができる最善の方法だったと考えています。

市民 3年間かけて説明をしていくとお話をされましたが、あと1,000日はあるわけで、毎日でもこのようにお話をしていきたいと思っています。昨年、4候補地が公表された後、市長への要望書、市議会への陳情を出した際に、1,922人の署名が集まりましたが、今日の説明会を受けて、さらに数多くの署名が集まる可能性もあります。5,000人反対であれば、市長は全員納得するまで説明して下さい。それくらい重要な問題だと思います。また、よく市民の理解と言われますが、地域住民の理解です。市長のお生まれはこの辺りであると思いますので、愛着もあるのではないのでしょうか、そこも考慮に入れて下さい。

市民 用地の選定について、再検討はしていただけるのでしょうか。

市長 本日、最終決定ということで報告をさせていただきます。再検討ということをお約束することはできませんが、協議を重ねさせていただき、皆さまとは膝を突き合わせてお話ししていきたいと思っています。ここまでは、私から、今まで積み上げてきたものをお伝えしているところですが、皆さまのお気持ちも理解しながら、私の気持ちもお伝えし、今日いただいたご意見をしっかりと受け止めて、今後、何ができるかということを考えていくこととなります。ストレートに再検討ということになるかどうかはお答えできませんが、ご意見を受けとめて、今後の進め方についてはご相談させていただきたいと思っています。

市民 由比ガ浜の海岸のところに広い土地があるため、そこに建てていただきたいと思います。夏の海の家のようなシャワー、プールといったものを併設し、駐車場を造って、食べ物を提供する店を造るなどという方法もあるのではと思います。観光のためにもいいと思います。このような提案があったということ、旧鎌倉地域の市議会議員等によく説明して欲しいと思います。

また、市長、部長など市の皆さまには、近隣の土地を購入していただいて、実際に住んでみていただき、現状を把握していただきたいと思っています。

市民 今日の議事録は、ホームページで公開して下さい。

市長 ホームページで公開するようにします。

市民 車両の搬入台数について、私の家はこの一方通行から引き込み線のところにあります。朝、パッカー車が一斉に出ていくと思われませんが、どちらも渋滞しています。天神下の交差点もとても狭いので渋滞しています。横須賀線の踏切のほうも、開かずの踏切でバス等が動けなくなっています。そのような中で、資料には戻ってくる車両の台数が示されていますが、出ていくときのほうが一度に多数の車両が連るのではないのでしょうか。そういった中で、交通状況と折り合せはできるのでしょうか。

部長 直営の収集車は年々少なくなってきており、委託の車両が7割くらいとなっているため、8時30分から施設を出ていく車はかなり少なくなっています。今後どうなるかはわからないものの、朝の収集開始時に施設を出る車両が集中することは軽減できると考えています。

市民 鎌倉市は、お金がなくて野村の建物の解体、橋の建替えができないため、文化施設が造れないということで、計画が凍結していると聞いています。なぜそんな遊休地があるのに、こんなに住民反対があるところに施設を造らなければならないのですか。何年後に文化施設が造れる計画となっているのでしょうか。文化施設を造れないのであれば、有効活用すべきと考えるのが普通と思われます。選んでいる基準が明確ではありません。それをきちっと説明してくれなければ、住民は納得できません。住民に愛される施設を造りたいということですが、今のままでは、愛されない焼却施設ができることとなります。

市長 今の段階では、山崎に造るということは反対であるというご意見として受け止めています。今後、どのように、愛される還元施設とできるかは、解決できる部分を見つけていきたいと考えています。

野村の活用については、いつまでにどうするという計画ではありません。JRについては、以前からあった整備の計画をストップして進めてきました。今回、候補地でないところについては、これからその計画を進めていく手順となりますので、今後、どのようにしていくかはしっかりとお示ししていきたいと考えています。

市民 なぜ、住民の反対のあるところに造るのですか。

市長 4つの候補地で、住民の方々の反対のない地域というのはないと思います。もちろん、反対があるかないかということではなくて、今回は、安全安心のまちづくりに寄与できる、そうした施設を造ることができるということで、山崎のこの場所が最適であると判断し、決めさせていただいたということです。

市民 その根拠が弱すぎます。

市民 本日はここに建設をするという前提での説明会になっていますが、これだけ反対の意見が出ており、市長が再検討の約束は今ここではできない、協議させていただきたいと言われました。その協議については、市長、市議会、市役所内で完結するものなのでしょうか、それとも、4候補地の地域住民を含めて再検討等の協議を行うものなのか、今後の方針についてお聞かせ願えますか。

市長 4つの候補地の近隣の方と、再度協議をすべきではないかというお話をいただきました。また、午前中にいただいた意見のなかでは、全市的に協議をしていくべきではないかというご意見もいただきました。全市的な点、4つの候補地からの点を含めまして、どのような協議を行っていくか、会長様をはじめ皆さまと協議をさせていただいて、今後の進め方を決めていきたいと考えています。また、それが決まりましたら、会長様を通じて、もしくは市の広報により、お示しして進めていきたいと考えています。

次長 市長から話がありましたように、今後の進め方については、あらためて皆様にお示ししていきたいと考えています。これで本日の説明会を終了させていただきます。